

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)RJR江坂新築工事	階数	地上13F
建設地	大阪府吹田市江の木町	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2021年4月7日
敷地面積	940㎡	作成者	小園 貴幸
建築面積	510㎡	確認日	2021年4月20日
延床面積	4,407㎡	確認者	小園 貴幸



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	46%
③上記+②以外の	46%
④上記+	46%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

音環境	3.9
温熱環境	3.1
光・視環境	3.4
空気質環境	4.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.4
耐用性	2.9
対応性	3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性・	3.0

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

建物外皮の	2.8
自然エネ	3.0
設備システ	3.9
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源	3.4
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.4

地球温暖化	1.0
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
<p>日常への「Gift」として新生活を提案することをコンセプトに『気品ある佇まい』をマリオンやスクエアにてファサードを構成し、趣のあるクラシカルな外観を現代風にアレンジを行い、街並みに溶け込むファサード計画としました。</p> <p>敷地周辺は江の木公園以外は比較的、緑の少ないエリアで、狭い敷地の中でも前面に植栽を配置し景観と環境美化に</p>		<p>周辺の環境と馴染むことができるように、周辺の建物の情報を調査し、それらのデザインモチーフを積極的に建物の外観に取り入れました。</p>
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<p>全ての住戸が江の木公園に面しており、そのため、隣接する建物に採光を遮られることなく、屋光利用を室内に取り込むことができる計画としました。</p>	<p>設計の計画段階から、内装の仕上げや照明計画について詳細検証を行い、コンセプトをしっかりと反映することを考慮しました。エントランス及びラウンジ空間をゆとりと確保し、居住</p>	<p>江の木公園以外に比較的、緑の少ない通りの中で、道路及び歩道に面して植栽を積極的に配置し、地域に対して充実した緑化空間を確保することが</p>
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
<p>全ての住戸が外皮に2方向面しており、それぞれの住戸が均一な条件となるように計画を行い、有効な採光と通風に配慮しました。</p>	<p>躯体以外にリサイクル資材を使用しています。</p>	<p>騒音・光害等に配慮しています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0009

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)RJR江坂新築工事						
	建設地	大阪府吹田市江の木町						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						1	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				1.0	1	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				2.8	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.9	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							